

市民活動センターだより

9 月

令和元年

vol.41



問合せ

〇ながはま市民活動センター
長浜市役所〈本庁舎3階〉
平日 8時30分～17時15分
〒526-8501 八幡東町632

〇北部サテライトセンター
きのもと交遊館
水・日曜日 9時～21時
〒526-0425 木之本町木之本1118

☎ 65-6525

✉ katsudou@city.nagahama.lg.jp

市民活動に関する事務作業や打ち合わせなどにご利用ください!

TOPIC | 今月の情報コーナー

みんなで一緒に第九を歌おう

年末の「風物ソング」ともいえるベートーヴェンの「第九」。1年の終わりを実感する人も多いはず。まちづくり団体「o.ki.ra.su」では、第九を合唱する催しを企画、参加を呼びかけています。

昨年末、メンバー有志が長浜駅とえきまちテラスを結ぶデッキで初開催。足を止め聞き入る通行人も見られ好評に終わりました。2回目となる今年は、より多くの人とともに楽しめればと期待しています。

第九を知らない人、歌ったことがない人も歓迎。当日までの練習では専門家の合唱指導もあります。

- 【と き】 12月28日(土)15時～
- 【ところ】 市中心市街地(調整中)
- 【内 容】 ベートーヴェン交響楽第9番第4楽章「合唱」(抜粋)の合唱
- 【対 象】 小学生以上
(小・中・高は保護者の許可要)
- 【練習日】 9月19日(木)、30日(月)、
10月8日(火)、17日(木)、

22日(火)、31日(木)以降の練習日は未定。時間はすべて19時30分～21時
練習会場は長浜小学校、高月まちづくりセンター、虎姫まちづくりセンターなどを予定。

【参加費】 2,000円(楽譜、練習会場費用など)

問・申 o.ki.ra.su 村山 ひとみ
(☎090-4038-8899)



▲昨年の大晦日に開催した様子

10年にわたって 長浜の庭文化を紹介

市内の個人住宅や寺社などの庭を紹介した冊子が「ながはまのお庭」です。市中心市街地を拠点とするNPO法人まちづくり役場が平成21年から制作に取り組み、4巻まで発行しています。

長浜は、茶人で造園家でもあった小堀遠州や、明治期に県内の名園を手掛けた勝元宗益(鈍穴)を生んだ地。こうした偉人の影響を受け作られた庭が、個人宅にも多く見られます。長浜が育んできたお庭文化を伝えたいと、市内の庭師の監修のもと各集落を調査し、家主の協力を得て掲載庭を選定。住民有志や京都大学学生が取材、各庭の特徴をまとめ、4巻の中で紹介した庭は、約100にもなります。

現在編集中の5巻は、市中部北部エリアの庭に特化。市中心市街地から始め、取り組みを市全域に広げた完結編となります。ご期待ください。

ながはまのお庭1～4巻(A5版カラー 約30ページ)各300円

問 まちづくり役場 (☎65-3339)



▲中心となって取り組む同法人の山崎弘子さん(左)と原田佳さん(右)

こんな活動してます!

市南東部の西黒田地域を拠点に平成23年に設立。横山丘陵を抱き田園が広がるのびやかな地で維持されてきた暮らしを後世にも残したいとの思いから、地域住民に向けた多様なサービスを展開。介護サービスや高齢者・子育て支援、しょうがい者就労支援、多世代の居場所づくりなどに取り組んでいます。

そのひとつとして平成28年から着手したのが、休耕田を活用したハスの栽培とその活用。一帯で増加する耕作放棄の進行を防ぎ、地域の子どもから高齢者、しょうがい者、どんな人でも栽培に関わることができる福祉農園としての機能を備えつつ、ハスを食材や料理の飾り、香水などへ商品化していこうとしています。

現在、約3.2ヘクタールまで広がったハス畑を散策できる遊歩道の整備に加え、商品づくりをする加工所整備を計画中です。取り組みへの賛同と資金支援を幅広く呼びかけています。

認定NPO法人 つどい



ハス栽培活用は、「あいのたにロータスプロジェクト」として進行中。支援やお問い合わせは、つどい事務所(☎57-6777)まで。



植物油インキで印刷しています。再生紙を使用しています。

「広報ながはま」は、各自治会を通じてお届けすることを原則としていますが、市民交流センターや図書館、まちづくりセンターなど市の公共施設やスーパーなどにも置いています。市ホームページ、スマホからもご覧いただけます。点字広報、声の広報を作成していますので、ご希望の方は市民広報課まで。